

放射能関係のお知らせ

2019年3月1回(A週)

お届け日:2019/3/4~3/8
発行日:2019/2/18



本誌は、カタログ掲載の青果について、2019/2/13(水)までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果物	いちご	品目で検査済 たまつくり・はが野・とちのみ・うつのみや・佐原・遠州
	清見オレンジ	柑橘類で検査済 小田原
	キウイ	品目で検査済 小田原・やはた会・有機農法ギルド
	不知火	柑橘類で検査済 小田原・久望
	ネーブル	柑橘類で検査済 小田原
	はっさく	品目で検査済 小田原
	はるか	品目で検査済 久望
	りんご	品目で検査済 八峰園・ゴールド農園
果菜	きゅうり	品目で検査済 みちのく野菜・サンド旭・村悟空・佐原
		果菜類で検査済 八千代・沃土・和郷
		検査予定 邑楽館林・野菜くらぶ
	スナップえんどう	品目で検査済 南伊豆
	トマト	品目で検査済 葉菜野果・にっただみどり・うつのみや
		果菜類で検査済 谷田部・元気会・野菜くらぶ・沃土・いちかわ
ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・野菜くらぶ(福島)・元気会・和郷
	果菜類で検査済	八千代・沃土・サンド旭・村悟空
	アスパラ	品目で検査済 利根沼田
		検査予定 うつのみや
大葉	葉菜類で検査済 和郷	
キャベツ	品目で検査済	南伊豆・三浦市・三浦EM・よこすか葉山
	葉菜類で検査済	野菜くらぶ・沃土・村悟空・海上・佐原・和郷・遠州
	検査予定	たまつくり
小松菜	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・群馬モグラ・佐原・八街・風土の会
	葉菜類で検査済	有機農法ギルド・野菜くらぶ・南埼玉・沃土・和郷
	検査予定	たまつくり
サニーレタス	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・海上・八街・和郷・風土の会	
たらの芽	品目で検査済 丸公	
チンゲン菜	品目で検査済 あゆみの会・和郷・遠州	
	葉菜類で検査済 こまち・葉菜野果・沃土・佐原	
菜の花	品目で検査済	小田原
	葉菜類で検査済	南伊豆
にら	品目で検査済 元気会	
	葉菜類で検査済 葉菜野果・野菜くらぶ・和郷	
ねぎ	品目で検査済	常総・八千代・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・沃土・村悟空・佐原
	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・やさと・八街・風土の会
	検査予定	たまつくり
	プロッコリー	品目で検査済 野菜くらぶ・南埼玉・海上・佐原・和郷
	葉菜類で検査済 沃土	
ブチアール	品目で検査済 庄内たがわ	
ハッピーリーフ	品目で検査済 フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ほうれん草	葉菜類で検査済 谷田部・八千代・常総産直・有機農法ギルド・やさと・野菜くらぶ・利根川・草の会・沃土・八街・佐原・和郷・風土の会	
		検査予定 たまつくり・うつのみや	
	みず菜	葉菜類で検査済 谷田部・葉菜野果・沃土・佐原	
	ミックスカール	品目で検査済 フェニクス	
	山うど	葉菜類で検査済 利根沼田	
	ルッコラ	葉菜類で検査済 葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷	
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ・サンド旭
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・やさと・常総産直・沃土・南埼玉・海上・八街・佐原・和郷
	若芽ひじき	品目で検査済 寺島	
	かぶ	品目で検査済	沃土・海上・八街・佐原
根菜類で検査済		谷田部・和郷	
検査予定		たまつくり	
ごぼう	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・やさと・清瀬	
	根菜類で検査済	常総・有機農法ギルド・和郷・佐原	
	検査予定	たまつくり	
さつまいも	品目で検査済	常総・たまつくり・葉菜野果・和郷・佐原	
	根菜類で検査済	谷田部	
しょうが	品目で検査済	村悟空	
	根菜類で検査済	和郷	
大根	品目で検査済	和郷・三浦EM	
	根菜類で検査済	谷田部・村悟空・佐原・海上	
長芋	品目で検査済	谷田部	
	根菜類で検査済	常総・葉菜野果	
人参	品目で検査済	二本松・常総・有機農法ギルド・あゆみの会・風土の会・清瀬	
	根菜類で検査済	谷田部・やさと・葉菜野果・沃土・和郷・佐原・八街・農法の会・海上	
	検査予定	たまつくり	
にんにく	品目で検査済 八峰園・田子・ゆうき青森		
れんこん	品目で検査済 有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・佐原		

●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
きのこセット	品目で検査済 小川きのこ・丸金グループ・三幸・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済 谷田部
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
まいたけ	品目で検査済 ささかみ・雪国
マッシュルーム	品目で検査済 村悟空・三蔵
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済 谷田部 *谷田部の生しいたけからは放射能が検出されました

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2019/2/13	10
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
原木しいたけ(はねだし)			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2018/10/17	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査したところ、不検出でした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
れんこん	常総	2018/8/22	6.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 111210	きのこ春雨の中華炒めセットのしいたけ	2018/12/4	5.4
きなり			
コトコ 361	鶏だんごと春雨の白湯スープセットのしいたけ		
きなり 112216			
きなりセレクト 341088			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・莖菜	プロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

放射能Q&A再掲 その1

2011年に掲載した放射能Q&Aを再掲します。

Q自然に放射線をあびているって本当？

A:自然界にも放射線があり、日本で平均 1.5mSv/年(※)、世界では平均 2.4mSv/年の被曝があります。日本では世界平均より自然放射線が少ないとされていますが、これは主として木造家屋に住む人が多いからです(石造りの家の場合、岩石から放射線が出ています)。一方、医療被曝は日本の平均では 2.4mSv/年と世界各国の 0.4 ~ 1mSv/年に対して、大変多くなっており、過剰に使用されていると指摘されています。

自然放射線

種類	放射線の由来	世界平均	日本
外部被曝	大地放射線	0.5	0.4
	宇宙線	0.4	0.3
内部被曝	食物	0.3	0.4
	ラドン	1.2	0.4
合計		2.4	1.5

Qベクレル・シーベルトとは？

A:ベクレル(Bq)とは、放射性物質が持つ放射能の強さを表します。数値が大きいほど、たくさんの放射線を出していることとなります。しかし、同じ1Bqの放射性物質であっても、どのぐらい被曝をするかは放射性物質の種類(セシウム、ヨウ素、ウランなど...)によって変わってきます。そこで、どのぐらいの放射線を浴びたか(被曝したか)を表す単位がシーベルト(Sv)です。「〇〇ベクレルの放射性セシウムで、〇〇シーベルトの被曝をした」という言い方になります。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1097)」(2018/2/28~2018/8/10で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 以上で検出された検体です。

ニホンジカ肉:宮城県栗原市 140 Bq/kg
ツキノワグマ肉:宮城県栗原市 110 Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数件です。

乾シイタケ:群馬県沼田市	15~24Bq/kg
アメリカナズ:茨城県(霞ヶ浦北浦)・(恋瀬川)	35~39Bq/kg
ツキノワグマ肉:宮城県仙台市ほか	29~57Bq/kg
イノシシ肉:宮城県栗原市仙台市ほか	27~36Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数件です。

乾シイタケ:福島県磐梯町	20~42Bq/kg
--------------	------------

2月の放射能検査状況

2月の検査は、11日までで、しいたけより生しいたけ1件(7.1Bq/kg)が検出されました。その他に検出された食品はありませんでした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	2月	検出状況	2月
青果	8(0)	卵	0(0)
しいたけ	1(1)	生しいたけ 7.1Bq/kg	魚介類 12(0)
その他のきのこ類	1(0)	飲料水・飲料	7(0)
米・米飯類	0(0)	乳幼児用食品	6(0)
牛乳・乳製品	3(0)	その他加工食品	88(0)
肉類	0(0)	合計	126(1)

2018年度の放射能検査の状況(2018年4月~)

青果	常総センターのれんこんより1件(6.4Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけより(5.3~22Bq/kg)で自主基準内の検出がありました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2018年産米は、8月よりJA君津の千葉ふさおとめから検査が始まり、いままでJA君津、JA魚沼みなみ、JAささかみ、JAつくば市谷田部、JAこまち、JA北蒲みなみ、オーリア21、JAえちご上越、JA庄内たがわ、JAみどりの、JA津軽みらい、南埼玉、JA山形おきたま、JA秋田ふるさと、JAいわて花巻、庄内協同、JA会津よつば、JA佐渡、花咲農園、健診の郷の産地で検査が終了し、不検出でした。栃木の日本の稲作を守る会より2件玄米で検査を行い1件(4.4Bq/kg)自主基準内で検出されました。白米にして検査を行ったところ、不検出でした。米は白米で供給します。 重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。
牛乳、肉	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
卵	今年度はまだ検査を行っていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。2017年度に産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)より1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。まだ、今年度は検査を行っていません。
その他加工食品	<p><お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っていません。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけ(4.3, 5.4, 8.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。</p> <p><大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。</p> <p><乾物> 2018年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.1Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。</p> <p><その他> 2017年度にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。2018年度の検査では不検出でした。</p>

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準	
2014年10月より現行基準	現	旧		
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
飲料、乳製品、米			一般食品 100	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50		
しいたけ	100	100		

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。